



かじき

№.386
昭和61年

12月号

発行 加治木町
編集 総務課



カレンダー

翌年のカレンダーが手に入ると、連休はどんなぐあいかな”と、めくって見るのが楽しみです。

カレンダーは、およそ三億部出回っていると推定されています。一人当たり三部近いのですから大変な数ですね。最近のカレンダーには、友引や仏滅などの六曜が入っていないものが多いのですが、大安だけが入っているものが

あります。これは「大安を入れて欲しい」という若い女性が多かったのだそうです。さて、十二月には「歳末助け合い運動」が行われます。みんなで温かい正月を迎えられるよう、助け合いに協力しましょう。

手づくりの“しめなわ飾り”で迎えるお正月（加治木小学校にて）

宇都宮明人氏が当選

投票率は七五・八九パーセント

町長選挙

任期満了に伴う町長選挙は十一月三十日、十五投票所で投票が行われ、即日開票の結果、宇都宮明人氏(五三)が初当選しました。

今回の町長選挙には、宇都宮明人氏をはじめ、下猶篤男氏(七〇)、東國雄氏(六八)、川野敦郎氏(四五)の四人が立候補し、町政のビジョン

や住民福祉などを争点に行われました。

投票当日の有権者は一万六千六百七十七人(男七千三百五十七人、女八千七百十人)で、このうち一万二千九百九十三人が投票しました。

最終投票率は七五・八九パーセント(男七三・〇五パーセント、女七八・二九パーセント)

で、四十九年(前回、前々回は無投票)の八四・七一パーセントを八・八二パーセント下回る結果となりました。

投票率が最も高かったのは第十一投票所(旧鎮守小学校)の八九・九六パーセント、また、最も低かったのは第七投票所(豊町公民館)の六五・〇五パーセントとなっています。

■各候補者の得票(選管最終)

宇都宮明人氏 四、四六三票
下猶 篤男氏 三、三四九票
東 國雄氏 二、三三九票
川野 敦郎氏 一、九七二票

町長の略歴

宇都宮明人 52歳
中央大学卒業。
総合建築会社・企画、営業部長などを歴任。
一級建築士事務所代表取締役。都市計画等建築マーケットコンサルタント。
住所 諏訪町一九一

就任のごあいさつ

町長 宇都宮明人



宇都宮町長

この度、皆様がたの御支援を賜わり、重責を担うことになりました。責任の重大さを痛感致しております。

伝統と文化と教育の町、古い

歴史を有する加治木町に、活性化と潤いをもたらすために私の全生涯をささげます。

御高承のごとく、地方自治は財政的にますます苦しくなっております。

町内には、いろいろな問題が山積しておりますが、町政の推進にあたり、常に高潔と公正を旨とし、賢明な町民のかたがたのお知恵を拝借しつつ、ひとつひとつ解決して参ります。

出来るものと出来ないものの区別、諸問題の順位をつけて、町民の皆様のコンセンサスを得

ながら実施して参ります。

町民の訴えには、速回答を出す体制を作ります。

再三、申しますとおり、並大抵の事では、加治木の活性化を図ることは出来ません。

幸い、加治木町は人材が豊富です。今こそ活性化を図る必要があります。

今後の行政の長たる者は、行政手腕より、むしろトップセールスが出来るか、否かが、全ての岐路になります。

地方自治は三割、後の七割が国や県との折衝になります。

それ故、国や県への太いパイプが敷設出来るか、否か、これが一番重要な鍵となります。

一方、地場産業、農畜産、林業の育成を図るとともに、企業誘致もさることながら、むしろ

時代を先取りする研究機関の設置を推進していきたい。

そして、加治木に、他の市町村、県内外、さらには海外からも人々が集まって来るような、活気あふれる、生き生きとして調和のとれた美しい街並みと、安全で住み良い住宅街の建設と教育、福祉、婦人問題等、山積する課題に、真剣に取り組んで参ります。

何を実施するでも、町民の皆様がたの御協力が最も必要であります。

加治木町が、再び始良郡の行政の中心地として、脚光を浴びるために、是非とも皆様がたのお力添えを賜わります様、衷心よりお願い申し上げます。

最後に町民の皆様がたの御健勝をお祈り申し上げます。

図書館だより

十二月二十八日から

一月四日まで休館

町立図書館と郷土館の年末・年始の『休館日』は、次のとおりです。

返本や継続貸し出しなどの手続きは、お早めにお願います。

■休館日

十二月二十八日(日)から
一月四日(日)まで(八日間)
▽十二月二十七日(土)は、郷土館は：正午まで

図書館は：午後四時三十分まで開館します。ご利用ください。

五人の委員を再任

図書館協議会

任期満了に伴う図書館協議会委員に、鎌田靖子さんら五人が再任されました。

これは、十月の定例教育委員会決定されたもので、向こう二年間、町立図書館の運営に関することを審議いただくことになっていきます。

委員は次のかたがたです。

藤山恵三 永原小学校長

鎌田靖子 地区公民館連絡協議会・婦人部代表

宮路義和 議会文教厚生委員長

岩元房友 町子ども会育成連絡協議会長

鬼塚俊男 城西地区公民館長

議長に大吉操氏

町議会臨時会

町議会は十二月八日、臨時町議会を開き、下猶篤男前議長の失職に伴い、新しい町議会議長に大吉操氏(六六)を選任しました。



大吉操議長

退任のごあいさつ



東國雄前町長

職員に最後のあいさつ

東國雄前町長の退任式

東町長が「地方財政もいよいよ厳

昭和四十九年十二月初当選から、三期十二年間、加治木町長として町政の発展に尽くしてこられた東國雄前町長の退任式は十二月九日、町体育館で職員や団体関係者などが参列して行われました。

退任式では、

しい状況にあります。新しい町長を中心に、町民の期待と信頼にこたえていただくようお願いし、町政の限らない発展をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。また、大吉操町議会議長が東町政十二年間の業績を讃え「これからは健康に特に留意され、ゆつくとした生活をお過ごしください」と送辞を述べました。

この後、町から花束が、職員から記念品の目録が贈られ、東町長は拍手と「御苦労さま」の声に送られ、公職に別れを告げました。



職員に見送られ公職を去る東町長

なくそう 年末年始の交通事故

間実施されます。

家族そろって明るい新年を迎えるため、お互いが「思いやりの心」で、譲り合いの気持ちをもって、交通事故防止に努めましょう。

献血に協力

慌ただしい年末年始は交通事故なども増え、輸血用血液の需要が高まりますが、逆に、献血者は減少し、例年、血液確保に苦慮しています。

献血は、健康な人なら誰でもできますので、ご協力をお願いします。

▽献血場所

県赤十字血液センター

(鹿児島市鴨池新町)

献血ルーム天文館

▽献血者サビス

献血された人には、血液検査を実施し、その結果を個人に通知します。

曾木隆輝町政の後を受けて三期十二年、町長の椅子を汚して終いました。当時、戦災復興等町づくりが一通り終わった状況にあったとはいえ、本当の意味での町づくりはこれからで、諸制度の確立、住民の生活安定や両高校をはじめ、小・中学校、幼稚園、保育所など教育施設や福祉施設の整備、更には町内各面の環境整備等まず取り組まれた課題で、住民の皆さんに大変なご心配、ご迷惑をかけたこと反省します。でも、よく理解してご協力下さったことは大変有り難いことでした。

終戦後のある時期には、国・県市町村それぞれに戦災復興に、産

業務の遂行が出来ましたのも、直接私を補佐していただいた前助役の岩田一郎氏・川崎貞義氏、現助役の向江重光氏や歴代の収入役や

最後に「なりましたが、地方行政も、ますます厳しい情勢にあります。政府も、財源対策に八方手をつくしているようですが、事務事業の推進には大変な苦労が予想されます。



益金を寄贈

ジャズをはじめ15曲を演奏

山口綾規ハモンド・コンサート

全国ハモンドジュニアコンクールで日本一に輝いた山口綾規さん（加治木中学校一年）の、ハモンドオルガン・チャリティコンサートが、十一月二十三日福祉センターで行われました。

山口さんは、母親の民子さん

が自宅で音楽教室を開いていることもあって、四歳の時からピアノの手ほどきを受け、六歳から電子オルガンを始め、今年九月、京都で行われた全国大会では、課題曲の「愛のコリーダ」と自由曲「アップ・アップ・アンド・アウェイ」をリズムカルに演奏して、みごと日本一に輝きました。



すばらしい演奏を披露

この日は、一か月前に右腕を骨折し、あまり練習ができなかったというものの、ジャズをはじめ、木曾節や枯葉など十五曲のすばらしい演奏を披露し、集まった六百人あまりの観衆から盛んな拍手を受けていました。

「将来は本場アメリカでコンサートを開くのが夢」と語る山口さん。大きく羽ばたいて欲しいものです。

「体の不自由な人に」と

益金を寄贈

「体の不自由な人のために役立てて下さい」と加治木中学校の山口綾規さんと、一年九組の厚生委員岩元典文さん、鶴田隆子さん、地久里晴美さんの四人が十一月二十八日、町社会福祉協議会を訪れ、事務局長に、チャリティコンサートの益金五万円を寄贈しました。

記念乗車券など
50点を展示

町立図書館で“鉄道展”

読書週間の十一月二十七日から十一月九日まで町立図書館に、珍しい鉄道関係資料の特別展示コーナーが設けられました。展示されたのは鉄道関係の図書や入部図書館長が三十年間にわたって収集されてきた各種の記念乗車券や「D51」のナンバプレート、昭和二十一年の乗車券など五十点あまりで、BGMに

「家庭をしっかりと下さい」

社会教育秋期一般教養講座

社会教育秋期一般教養講座が十一月十三日、福祉センターで開催



講演する堀支局長

され、社会教育学級生や老人クラブ会員など百人あまりが、講演に熱心に聞き入っていました。

この日は、鹿児島法務局・加治木支局の堀支局長が「人に幸せを」と題して「最近、青少年の非行が多くなっています。私たちの先祖は、子孫がますます繁栄するよう願ってきたはずですが、今の親も同じだと思えますが、それを子供に伝えていません。あまり子供に期待をかけすぎ、精神的な教育をしないと子供は非行に走りまわります。人に幸せを与えるためには、家庭をしっかりと下さい」と身近かな相談事例をまじえ講演しました。



展示品に見入る親子連れ

SLの音も流され、親子連れで訪れた畠中さんや野本さんは、懐かしそうに見入っていました。

青少年の健全育成を

キャラバン隊が来町

「青少年の夢と希望をはぐくむ月間」の十一月十九日、青少年健全育成広報キャラバン隊の一行十一人が加治木町を訪れ、東町長に総務庁長官と県知事からのメッセージを伝達しました。

これは、みんなで青少年非行の絶滅を図るため、地域ぐるみの運動を推進しようと、キャラバン隊が県内各地を回り啓発を行っているもので、キャラバン隊の加治木総務事務所長が「青少年の健全な成長には、国民一人一人の温かい理解に支えられた家庭・学校・地域社会が一体となった総ぐるみの取り組みが重要です。より一層の御尽力をお願いします」と、総務庁長官からのメッセージを読み上げ東町長に伝達しました。



メッセージを伝達

習字など六百五十五点を展示

第二十八回町美術展

小・中学生の習字や絵画と一般の作品を集めて第二十八回町美術展が、十一月七日から九日までの三日間、福祉センターで開催され、連日おおいの人々が訪れました。

会場には、習字や書、絵画、彫塑など六百五十五点が展示され、参観者は一つ一つの作品に見入り芸術の秋を満喫していました。

特別賞の表彰式は、十一月七日福祉センターで行われ、次のかたがたが受賞しました。

◎町長賞

毛筆 渋谷友香 (柁城小三年)
工芸 八代鳴水 (加 中二年)

◎議長賞

毛筆 小宮路あゆみ (加中三年)
絵画 岩崎智美 (加治木小四年)

◎教育委員会賞

毛筆 後藤由香 (柁城小六年)



特別賞を受ける (町美展)

絵画 前田隆之 (竜門小一年)
◎南日本新聞社賞

毛筆 濱崎直子 (加治木小四年)

デザイン 丸尾英広 (加 中二年)

◎商工会賞

毛筆 瀧脇美奈子 (加 中二年)

絵画 中山兼久 (永原小六年)

◎農協賞

硬筆 東 和代 (錦江小二年)

絵画 森 隆志

(加治木養護 小四年)

◎南日本書道会賞

毛筆 前田あかね (柁城小五年)

毛筆 福永桃子 (加 中一年)

硬筆 西真理子 (柁城小一年)

◎始良地区美術協会賞

工作 前田洋介 (柁城小二年)

(共作) 岩元公生 (錦江小二年)

(共作) 武居智博 (錦江小二年)

南田恵さんが特別賞

郷土教育絵画展

加治木ロータリークラブが募集した郷土教育絵画展で、竜門小学校の南田恵さんの作品「龍門司焼」が特別賞に輝きました。

郷土教育絵画展は、小・中学生に郷土の文化財に対する関心と理解を深めてもらうと、文化財や郷土芸能を題材にした絵画を募集しているもので、今年は四十五点の応募がありました。

作品は町美展に展示されました。

狂言と古典落語を鑑賞

加治木高校で観劇会

加治木高等学校校体育館で十一月十日、観劇会が行われ、高校生や父兄、町民など一千三百人あまりが「狂言と古典落語」を鑑賞しました。

これは、加治木高校教育振興会が文化事業として毎年実施しているもので、

今年は大蔵流茂山千之丞一行による狂言「萩大名」と「棒しばり」、入船亭扇太、桂文朝の二人による

にぎわった芸能発表会

第二十回町文化祭

二十回目を迎えた町文化祭が、十一月二日と三日の両日、町福祉センターで開催され、おおいの



すばらしい芸能を披露

古典落語が行われ、参加者は熱心に見入っていました。



狂言「棒しばり」

美しいハーモニーを披露

コールのばら定期演奏会

「コールのばら」の第七回定期演奏会が十一月二十二日、福祉センターで行われ、美しいハーモニーが、集まった六百あまりの観衆を魅了しました。

この日は、二十一歳から六十一歳の池田政晴さんまで三十五

人の団員が「四季の歌」や「エーデルワイス」、また、竹之内こずえさんの朗読をまじえた混声合唱組曲「山に祈る」など十八曲あまりを熱唱し、盛んな拍手を受けていました。

コールのばらは、毎週水曜日、午後七時三十分から福祉センターで練習しています。



「山に祈る」を熱唱

最優秀は吉川明日香さん

中学生人権作文コンテスト

町人権モデル地区推進協議会が募集した「中学生人権作文コンテスト」で、吉川明日香さん（一年）の作品「男女差別について」が最優秀に輝きました。人権作文コンテストは、次代を担う中学生に人権に関する作文を書いてもらうことにより、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身につけてもらおうと推進協議会が実施したもので、三百五十四点の作品が寄せられました。表彰式は十一月二十一日、加治木中学校で行われ、推進協議会の

人権パネル展を開催

町人権モデル地区推進協議会



パネルに見入る

日本の書道家小本太法氏とブラジルの画家オスタビ・ロス氏の二人が描いた「世界人権宣言」のパネル展が、十一月十日と十一日の二日間福祉センターで行われ、おぜいの人でにぎわいました。これは、人権モデル地区推進協議会が人権思想の普及、高揚を図るため、人権擁護委員や法務局・加治木支局の協力を得て開催したもので、訪れた人たちは一つ一つの作品に熱心に見入っていました。



作文コンテストの入賞者

東会長が、入賞者一人一人に表彰状を手渡ししました。優秀賞は、次のかたがたです。▽宮脇和子▽古賀真紀▽石野由美▽柳佳太郎▽坂元美紀▽永野清華▽美坂依里▽森由美子▽小松明子▽日高みどり▽福岡文

人権作文コンクール最優秀

「男女差別について」

加治木中学校（二年）吉川 明日香

私が小学校の五年生の時のことだ。A君のしたことをBさんがとがめると、二、三人の男の子たちが「なんだ、おまえは女のくせになまいきだ」と、Bさんをなじっている場面にでくわした。その時「え？なんで女のくせになの」と、思ってから、私はこのことに関する疑問が、今だに尾を引いている。

事実、大人の世界でも「女のくせに出しゃばるな」とか「男は、そんなことをしなくてもいいのだ」とか、よく聞くことだ。なぜ男だからとか、女のくせになどという言葉が出てくるのだろうか。

私の父も時々、台所で働く母の手つだいをしようとする弟を



吉川明日香さん

見て「男が、そんなことをするもんじゃやない」と、いうことがある。

こういう父の姿を見た時、私は少なからず、ショックを受ける。いったいどういう気持ちで言っているのだろうか。

日本は何百年もの間、男尊女卑の社会が続いていた。つまり女は、台所仕事や家の中だけで働けばよい。女が社会的に働くことはもつての外である。人間社会は、まるで、男性のみで動いているかのように……。

大正時代、平塚雷鳥という女性が婦人解放運動をおこして、『男性も女性も平等である』と、唱え、それまで女性には認められていなかったいろいろなことを、女性にも与えてほしいとうったえた——というのを何かの本で読んだことがある。

母にこのことをたずねると、『例えばね、今でこそ女性にも選挙権があるけど、五十年くらい前までは男性だけのものだったのよ』と、話してくれた。

私はおどろいてしまった。つい最近まで男尊女卑が……と思

うとなぜか日本がずいぶん文明のおくれている国のような気がした。たしかに女性も男性より体力はおとるかもしれない。でも能力という点になると、果して男性が……とか、女性が……とか言えるのだろうか。男性には男性特有の能力があり、女性には女性特有の能力があると思う。その二つの能力が助け合っていけば、すばらしい社会になるのではないだろうか。

最近、新聞など読んでこれからの時代は、男性も女性もない時代なのだろう。事実、今まで男性の分野だと考えられていたところに、女性が加わって活躍している。宇宙飛行士などがその例だ。私は、バンザイ、だ。

これからは、お互いの意見や考え、知識や知恵を理解しあっていくべきなのだ。それを「男だ！女だ！」といって、箱の中にとじこもっているのは、どんな進歩もないのではないか。

人間同士のすばらしい人格を認め合い、お互いがそれぞれの立場に立って、思いやりの心で手をつなげば、平和で素晴らしい日本、いや、世界になるのではないだろうか。私は、近い将来、こんな世界がくるように思う。

(原文のまま)

「相手の立場を考えて」

1日人権擁護委員が呼びかけ

人権週間が始まった十二月四日「一日人権擁護委員」が、蒲生田通りで「人権擁護」を呼びかけました。

この日は、鹿児島地方事務局加治木支局の堀支局長が、玉利あけみさんと向江良子さん、重森さゆりさんの

三人に「一日人権擁護委員」の委嘱状を交付。一日人権擁護委員の三人と町人権モデル地区推進協議会会員や人権擁護委員、町と法務局



1日人権擁護委員に委嘱

「心の痛みがわかる人に」

加治木中学校で人権講演会

町人権モデル地区推進協議会主催の「人権講演会」が十一月二十七日、加治木中学校体育館で行わ

の職員など四十人あまりが、蒲生田通りで「相手の立場を考えて、人の和に満ちた豊かな人間関係を作りましょう」と呼びかけました。

れ、全校生徒千二百二十七人は熱心に聞き入っていました。

この日は、人権擁護委員の宮城俊治さんが「いじめと人権」と題して、「今、幼稚園でもいじめがあります。これは、人の心の痛みが理解できない人が増えているという事です。いじめは、許されることではないことだということを考えてみる必要があります。人権は心の問題です。人の心の痛みがわかる心を持つことが、人権を尊重する心を持つことに繋がります。将来を担う中学生の皆さんが大きく成長して欲しいと思います」と講演しました。



講演する宮城俊治さん

平和の誓いを新たに

町戦没者追悼式



戦没者を追悼

町戦没者追悼式は十一月二十一日、福祉センターでしめやかに行われ、二百人あまりが戦没者の霊を慰め、平和への誓いを新たにしました。

式典では、東町長をはじめ下郷町議会議員や、稲垣肇町遺族会長、遺族代表の坂元広子さんが追悼の言葉を述べた後、岳心流詩吟学院の鉦野岳智さんが、詩吟「同期の桜」を献詠しました。

また、遺族代表の前田幹子さんをはじめ参加者全員が、祭壇に菊の花をささげ、戦死されたかたがたを追悼しました。

贈られた獲物は、さつそく夕食の献立に加えられ、みんなで舌鼓を打ちました。

色鮮やかなキジをプレゼント

加治木会が望岳園を慰問

加治木会友会の溝口久男会長が、今年も十一月二十五日、望岳園を訪れ「元気で長生きしてください」とキジや山シギなどをプレゼントしました。

これは、十一月二十三日に開催した共催会で、会員から寄せら

れたキジや山シギ、ハトなどの獲物を贈ったもので、お年寄りたちは色鮮やかなキジを手に取り「まあ、美しい」と大喜びでした。



キジを手渡す溝口会長

救急車「山下号」を配備

始良郡西部消防組合

始良郡西部消防組合の本署に十月三十日、救急車「山下号」が配備されまし

た。これは、今年の四月、東塩入の山下為美さんから四百萬円の寄贈を受け、西部消防組合が購入したもので、山下さんは「こ

れはりっぱなものです」と新しい救急車に見入っていました。東町長は「大切にに使わせていただきます」と山下さんに感謝状を贈りました。

救急車は、台車付きのストレッチャーや酸素吸入器などを備えており、今後救急医療活動に大いに威力を発揮することでしょう。



山下さんに感謝状を贈る東町長

城北地区が優勝

地区対抗一般男子バレーボール大会

地区対抗一般男子バレーボール大会が十一月十六日、加治木中学校体育館で行われ、地区民の盛んな声援の中、十二チームが熱戦を展開しました。



優勝した城北地区

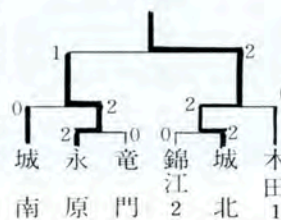
決勝戦では、城北地区と永原地区が対戦。三セットを戦う接戦の末、城北地区が優勝しました。結果は次のとおりです。

▽優勝：城北地区▽二位：永原地区▽三位：城南地区▽四位：木田第一地区

決勝トーナメント結果

(数字はセット数)

城北地区



優勝は加治木クリーン

丸高衣料杯ソフトボール大会

第二回丸高衣料杯ソフトボール大会が十一月十六日、町営運動場で開催され、加治木クリーンが、青葉台を九対〇で破り優勝しました。

大会はスローピッチ・ルールで行われ、十一チームが熱戦を展開しました。



加治木クリーンが優勝

▽二位：青葉台
▽三位：合庁OB

6人が7種目の記録を更新

小学校陸上記録会

小学校陸上記録会は十月三十日、加治木小学校で行われ、六人が七つの種目の記録を更新しました。

新記録は次のとおりです。

◎五年生男子 一〇〇秒走
今蘭信也(錦江) 14秒0

◎五年生男子 一、〇〇〇秒走
川田純也(柁城) 3分26秒1

◎六年生男子・六〇秒ハードル
日高德洋(柁城) 9秒9

◎六年生女子・一〇〇秒走
山本直子(柁城) 14秒0

錦江スポーツ少年団Aが準優勝

第四回軟式少年野球大会

第四回軟式少年野球大会が十一月三日、町営運動場で開催され、錦江小学校軟式野球スポーツ少年団Aは準優勝に輝きました。

大会には、郡内をはじめ川内や末吉、出水などから強豪十四チームが参加し熱戦を展開しました。

錦江小学校軟式野球スポーツ少年団Aは、榎谷重信くんのホームランなどで末吉町の小熊チームを三対一と破り、決勝トーナメントへ進出。決勝戦では、熱戦の末、国分チームに五対二で敗れ、惜しくも準優勝となりました。



熱戦を展開



記録に挑戦

◎五年生女子・八〇〇秒走
向江真智子(加治木) 2分46秒4
◎六年生女子・六〇秒ハードル
山本直子(柁城) 10秒5
◎五年生女子・ソフトボール投げ
隈原直子(錦江) 35秒32

百二十人が健脚を競う

町ジョギング大会

町ジョギング大会が十二月二日、加治木中学校前をスタートし、竜門橋を渡り九州自動車道の側道で折り返すコースを使って行われ、五十四歳から小学校の一年生まで百二十人が、日ごろ鍛えた健脚を競い合いました。

結果は、次のとおりです。

■小学校低学年・男子(一キロ)
優勝：吉田仁俊(3分52秒)

二位：久木元崇▽三位：後藤琢馬

■小学校低学年・女子(一キロ)
優勝：清水亜紀(3分55秒)

二位：末永仁子▽三位：向江真希

■小学校高学年・男子(二キロ)
優勝：川田純也(7分25秒)

二位：川添紀男▽三位：林盛路

■小学校高学年・女子(一キロ)
優勝：向江真智子(3分33秒)

二位：木佐貫江美▽三位：初瀬綾子

■中学校・男子(三キロ)
優勝：中村稔(10分53秒)

二位：今吉誠▽三位：内村武志

■中学校・男子(五キロ)
優勝：宮原憲一郎(17分5秒)

二位：池田重文▽三位：福岡博

■中学校・女子(二キロ)
優勝：向江真代(8分55秒)

二位：一般・男子(五キロ)

優勝：山本洋治(17分19秒)

二位：島村健二▽三位：瀬戸口悟

■一般・女子(二キロ)

優勝：野村カズ子(10分12秒)

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

二位：寺迫慶子▽三位：畦地美代子

竜門地区が十二秒差で優勝

地区対抗駅伝大会

地区対抗駅伝大会が、あいにくの雨の中十一月九日、農協育苗センター前をスタートし、木田本通線などを回る十区間のコースで行われ、竜門地区が二位の城北地区と十二秒差の一時間十一分二秒のタイムで優勝しました。

大会には、十地区の選手が出場し、沿道の盛んな声援を受けながら健脚を競いました。

地区別順位

優勝：竜門地区▽二位：城北地区
▽三位：木田第三地区▽四位：城西地区▽五位：錦江第一地区▽六位：城南地区▽七位：錦江第三地区▽八位：木田第二地区▽九位：錦江第二地区▽十位：永原地区

区間賞

一区 宮原憲一郎(城西地区) 九分三十二秒



一斉にスタート



たのむヨ一

二区 向江真智子(木田第三地区) 三分六秒	二区 川田純也(城北地区) 六分二十一秒
三区 原口みどり(木田第三地区) 一分二十一秒	三区 長谷博子(城西地区) 三分十七秒
四区 宮城雄一郎(城南地区) 九分十四秒	四区 原口正則(城西地区) 九分十四秒
五区 小宮路正一(木田第三地区) 六分十九秒	五区 小竹原明徳(竜門地区) 七分四十五秒
六区 酒匂 修(城北地区) 九分四十一秒	六区 小竹原明徳(竜門地区) 七分四十五秒
七区 小竹原明徳(竜門地区) 七分四十五秒	七区 小竹原明徳(竜門地区) 七分四十五秒
八区 原口正則(城西地区) 九分十四秒	八区 原口正則(城西地区) 九分十四秒
九区 長谷博子(城西地区) 三分十七秒	九区 長谷博子(城西地区) 三分十七秒
十区 川田純也(城北地区) 六分二十一秒	十区 川田純也(城北地区) 六分二十一秒

“でこんかつぎ”など26種目

西元地区大運動会

十二回目を迎えた西元地区大運動会が、秋晴れの十一月二日毛上公民館広場で行われ、子供からお年寄りまで地区民総出で二十六種目に挑戦しました。

運動会には、鹿児島市などからも地区出身者が帰郷。さおの両端に五本づつの大根をつるし、五十斤をリレーする“でこんかつぎ”では、バランスをとるのが難

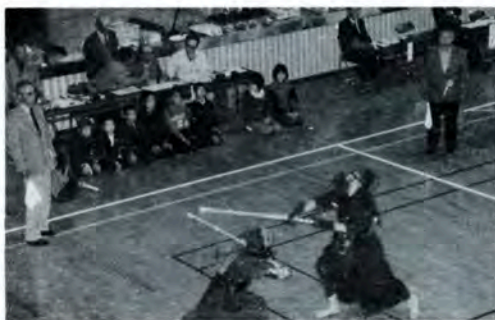
百二十四チームが技を競う

義弘公奉賛剣道大会

第十九回義弘公奉賛剣道大会は十一月二十三日、加治木中学校体育館で行われ、県内各地から参加した百二十四チームが日ごろ鍛えた技を競いました。

結果は次のとおりです。

- ◎小学校の部 ▽優勝：福平剣道スポーツ少年団A▽二位：正剣館▽三位：福山剣道スポーツ少年団A、寺山剣道スポーツ少年団
- ◎中学校の部 ▽優勝：菱刈中A▽二位：城南剣道スポーツ少年団▽三位：加治木中A、和田中A
- ◎高校の部 ▽優勝：鹿児島実業B▽二位：鹿児島実業A▽三位：加治木高校A、加治木工業A
- ◎一般の部 ▽優勝：鹿児島西警察署▽二位：和田剣道▽三位：桔梗会、鹿児島刑務署



腰がふらつく?

しく、腰や足元がふらつく姿に、大きな声援が沸いていました。

四人が区間賞を獲得

始良地区市町対抗駅伝

第十六回始良地区市町対抗駅伝競走大会は十一月二十三日、吉松駅前をスタートし、国分市役所前までの十七区間、四十三・三キロのコースで行われました。

大会には、十二市町から十三チームが参加。加治木町チームは、三区の宮原憲一郎さんをはじめ四人が区間賞を獲得するなど大健闘し、昨年の記録を一分二十二秒上回る二時間二十一分三十二秒のタイムで四位(昨年は五位)に入賞しました。

区間賞は次のとおりです。

- ▽三区 宮原憲一郎 8分45秒
- ▽七区 桑迫千尋 14分20秒
- ▽八区 常盤正明 6分48秒
- ▽十区 向江真智子 3分28秒



区間賞を獲得

文庫本など267冊を寄贈

宇都宮直賢さん

東京在住の宇都宮直賢さんから、文庫本や文学書など二百六十七冊の図書が十月二十八日、町立図書館に贈られました。

宇都宮さんは県立加治木中学校の卒業生で、『回想の山下裁判』などの本も執筆されており「町民のかたがたに読んでいただければ」と、五十六年度にも九十冊あまりの本を寄贈されています。

今回寄贈された本は、池波正太



寄贈された図書

郎の「西郷隆盛」や村上元三の「歴史は生きている」などで、図書館では順次整理し、配架しています。

百三十五世帯に記念品を贈呈

国民健康保険無受診世帯

国民健康保険税を期限内に完納され、また、日ごろから健康づく

りに努められている国民健康保険無受診世帯、百三十五世帯に十一月十二日、町保健センターで東町長から記念品が贈られました。

この日は、「成人病予防」の映画を鑑賞した後、大口保健所の濱田良二郎所長が「長生きのための健康づくり」と題して講演され、出席した七十六人のかたがたは熱心に聞き入っていました。

また、講演の後、血圧測定などの健康相談も行われました。

国民健康保険の加入者は、十月末日現在、三千六百十九世帯・八千二百五十九人となっています。保険税は期限内に納めましょう。



講演する濱田所長

金山道漫歩 ⑥ トイカエ市と加治木ガラス(終)

やがて、山人は海人の置いた海の幸に似合う山の幸と取り替えて持ち去る。海人も無言の掟に従って山の幸を持ち帰る。いつも神が見ている行動である。さて、加治木のルーツは神代の昔、いざなぎ、いざなみの御子・蛭子は、足が不自由なため天のいわくす船で下界に流されてしまわれた。船は、なげきの森(日当山)に着いたが、その柁は漂い流れてとある里に着き不思議にもその柁から芽が出ていつしか大楠になり、森となり村里を形成してゆく。この柁の木から加治木と言われるようになった。この美しい神話伝説は近隣の村人たちの間にも神の里

なる潜在意識が子々孫々まで定着され、格調高い信頼感が生まれ、加治木で山海の幸を交換することが最高の取り引きの場として、人々が集まり自然摂理の中に市がたつようになったと思われる。

この市の中心的役割をする加治木人は、時の移り変わりに敏感に応じ、時の掟(法律)を猛烈に勉強し商行為に生かしたため、無智な人々からは非情な仕打ちと受けとられる誤解もあった。が、近隣商人の追従を許さなかった。そのため、せん望(尊敬の念も含まれながら)の的となり、その行動などにちなんだ醜名(よく言えばニッケネム)が当然のようにつく、いわゆる加治木ガラスの異名である。

鳥は、私たちの日常生活の中にいろいろな暗示黙示を与える鳥であり、朝焼けに鳥の鳴く声は不吉な予感を生じ、茜色に輝く夕焼け空を時に帰る鳥には明日への活力を生み出してくれる詩情豊かな身近な鳥でもある。それだけに鳥の諺は沢山ある。鳥合の衆(鳥の寄り集まったように、統一も規律もなく騒いでいる人々の集まり)、鳥有に帰す(全くないこと…特に火事



トイカエ市(想像図)

で全部失った時使われる言葉)などあるが、私はガラスの一人として「鳥に反哺の孝あり(鳥は成長した後、親鳥に餌を運び孝行する)、また、鳥百度洗っても驚にはならぬ(無駄な骨折りはやめよ。自分の持っている性質は努力しても変えられないからそれを生かす工夫をしたほうがよい)」をとりた。

これこそ、実に人道的・合理的の商売上手な有り難い醜名をいただいたものである。

この由緒ある醜名で我が町に人を集め、祭りを創り市を興し、世界の物々交換市でも開いてみたら、潤達な風光、陸海空の交通の便、皆そろっている。さあ、世界の加治木ガラスと呼ばれたい。

筆者…松田 繁美
さし絵…新福 貢



未来の加治木(想像図)

銀色有功章を受賞

川 畑 喜 一 さ ん

日赤の共同募金活動に長年協力されている蒲生田の川畑喜一さんに、日本赤十字社から「銀色有功章」が贈られました。

これは、川畑さんが、長年、赤十字事業の推進のため、多額の社費を納入されてきた功績が認められたものです。

伝達式は十一月二十一日、町長



銀色有功章を受ける川畑喜一さん

室で行われ、東町長から銀色有功章が川畑さんに手渡されました。

大宮路さんが五段に合格

全国書道検定

全国書道検定（日本教育書道連盟主催）の審査が九月二十日、東京で行われ、大宮路照子さんが五段に合格しました。

結果は、次のとおりです。

- ◎一般部（漢字科）
- 仮八段 桐山三千代 二見涼子
 - 五段 大宮路照子
 - 準五段 西 武夫
 - 準三段 永田かよ子
 - 準二段 小野三男 松元 実
 - 準初段 新納純雄 小原親志

- ◎一般部（かな科）
- 準七段 梅木テル
 - 二段 福島正利
- ◎教育部（小・中学生）
- 四段 田中ともみ
 - 準四段 権現免マリモ
 - 三段 伊達ゆかり
 - 二段 新村真紀子
 - 準二段 古市志信
 - 準二段 新村奈理子
 - 初段 山下かえで
 - 準初段 松葉瀬春美
 - 一級 日置美千代
 - 準初段 松本美智代
 - 初段 中川智恵
 - 準初段 増田香織
 - 一級 内村由美
 - 準初段 河原良子
 - 初段 野崎沙織
 - 準初段 樋口洋一
 - 一級 神蘭隆行
 - 準初段 蓬原則行
 - 初段 川原慶子
 - 準初段 桃木野寿

カラスウリと キカラスウリ

カラスウリ

秋になると、楕円の朱赤色の実を結び、人目につきやすい。晩秋の景物として、絵画のモチーフにすることが多い。

ウリ科のつる状多年生草本で雌雄異株。鹿児島ではクソゴイという。

つるの切り口から出る汁は肌につけるとなめらかにし、汁を煮つめて塗ると、やけどに効がある。果実をつぶして酒にひたし、その汁をひび・しもやけ・あかぎれにつける。

乾燥した根を煎じて服用する

薬草
知られざる効き目



39

と黄疸・利尿・催乳・便通・通経に効あり、といわれるが、苦味があり、食欲不振や吐いたりするので、しろうとは用いないほうが安全である。

秋、最後に伸びた蔓の先が地中に頭をつつこんでもぐりこみ

カラスウリとは明らかに区別できる。

やはり、ウリ科のつる状多年生草本で雌雄異株。種子はウリの種子の形をしており、根は太くて長い。

根、種子ともに秋に採取する。

その先に新しいいもをつくる。種子はカマキリの頭に似て、大黒天を想像させる。それで、財布に入れておく風習がある。

キカラスウリ

この果実は黄色に熟するので

乾燥した種子を煎じて飲むと咳・喘息などを治し、利尿の効があり、母乳の出をよくするといわれる。

乾燥した根を煎服すれば、黄疸・咳止・通経・糖尿病・血の

うら枯れて

いよいよ赤し烏瓜 太抵

（筆者県民の森 上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。



- 一級 戒 ひろ子
- 二級 竹之内貴史 池田美穂
- 三級 松林妙子 福重つや子
- 四級 愛下由香里 緒方佳月
- 準四級 中川勝徳 松木あや
- 宝蔵咲子 古市光代

- 石庭や砂紋豊かに秋日抱く 高木 正男
- 露けしや碑を残し去る閑拓村 三浦 ゆう
- 豊作の柿がデザート休暇村 川崎 黒兎
- 薩摩汁あつきを好む吾子遠し 上野 光
- 拾い読む活字もどかし秋小寒 恒吉 斗南
- 馬肥ゆる牧一点の雲もなし 古江 重美
- 岨道に茶の花こぼす牧の果 川上 節子
- ちぎれ雲湧きつぐ峽や夕紅葉 加藤 白柳
- 川床の千畳敷や新酒汲む 内田美津代
- 草の実や夕日に長き己が影 鶴田 耕
- 菜園をよぎる一声朝の鳴 竹山 洋子
- 葎の穂の傘寿の顔に靡びきけり 井之上透山
- 息子等も手伝ひに来て稲架急ぐ 佐々木かずみ

お知らせ



年末・年始は休業

し尿とごみ処理

〔し尿くみ取り〕
十二月三十日(火)から
一月四日(日)まで休み

〔ごみ収集〕

(A地区)
十二月三十日(火)から
一月四日(日)まで休み

(B地区)
十二月三十一日(水)から
一月五日(月)まで休み

(小山田A地区)
十二月三十一日(水)から
一月六日(火)まで休み

▽詳しくは「ごみ収集ごよみ」を
ご覧ください。

▽自分勝手なごみ出しは、近所の
迷惑となります。

指定日、マナーを守りましょう。
〔火葬場〕 一月一日(木)と、

町立幼稚園の入園願書

締め切りは一月十七日

六十二年度町立幼稚園の入園願
書を、次のとおり受け付けます。
▽入園願書及び案内書の配布
十二月十五日から、各幼稚園で
配布します。

▽願書の受け付け期間
六十二年一月九日(金)から
一月十七日(土) 十一時まで

▽願書の提出場所

■錦江小学校区及び加治木小学校
区(新中、西ノ原、楠園、弥勒、
中福良東、中福良後、上木田、小
鳥、赤坂、原ノ門、中央)は……

錦江幼稚園

■右記以外は、加治木幼稚園

▽募集園児数

加治木幼稚園 八十人程度

一月二日(金)は休み

〔本土原一般廃棄物最終処分場〕
一月一日(木)から
一月四日(日)まで休み

▽生ごみは投入できません。
▽投入の際は「不燃物投入届出済
証」が必要です。
「届出済証」は、保健衛生課で
発行しています。

三十日と三日は休業

町営公衆浴場

年末・年始の町営公衆浴場の営
業時間は次のとおりです。
ご協力をお願いいたします。

■十二月二十九日(月)
午後二時から六時まで営業

■十二月三十日(火) 臨時休業
■十二月三十一日(水)
午後二時から六時まで営業

■一月一日(木)及び二日(金)
午前八時から正午まで営業

■一月三日(土) 臨時休業
■一月四日から(平常どおり)
午後十時から午後八時まで営業

町成人式は一月十五日

昭和六十二年の町成人式は、一
月十五日(木) 九時三十分から、
町福祉センターで開催されます。
町教育委員会では、服装は華美
にならないよう「平服」での参加
を呼びかけています。

〔該当者〕

昭和四十一年四月二日生から
昭和四十二年四月一日生まで
◎時間を厳守してください。

くらしの相談員を設置

西山民江さん・前原市子さん

最近、訪問販
売や通信販売な
どによるトラブ
ルが多くなっ
ています。
このため、県
では「くらしの
相談員」を設
置し、消費者から
の苦情相談に応
じています。
加治木町の相
談員は次のか
たがです。

▽西山民江さん 六三二二七五
四
▽前原市子さん 六三一三三八

うぶ声

出生児	井手向広樹	保護者	自治会
岩元ゆかり	浩一	小鳥	
小川 翔平	辰郎	中央	
高島千恵美	正昭	反土黒川	
南原 香詠	健三	西堀入上	
仲西 倫子	一郎	春日団地	
霜田 智久	俊彦	吉原	
吉本 英樹	喜美	赤坂	
藏園 誠一	昌生	赤坂	
飯屋蘭正也	成人	於里	
木村 桃子	正明	豊町	
高橋 由梨	伸一郎	岩原東	
常盤 可菜	昭弘	西江口団地	
小原 聡美	弘身	岩原西	
榎谷 美慧	幸義	小鳥	
佐藤 昌弘	光裕	楠原	
昭和四十一年四月二日生から 昭和四十二年四月一日生まで 載された分を掲載しました。	慶弘	蒲生田(2)	

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をい
ただきました。厚くお礼申し上げ
ますとともに故人のごめい福をお
祈りいたします。(一)内は故人。

〓町社会福祉協議会へ〓

三万円 徳永 笹峰幸広(父 益美五三)
二万円 田木山 久留信一(母 スマ七六)
十万円 今町 小浜美智子(夫正男七三)
一万円 中浜 有吉政雄
三万円 (母 岩下キノハ三)

端山 塩満恵美子
二万円 (母 貴島トキセ)
三万円 鶴原 田代快男(父 喜吉八六)
萩原 花牟礼利郎 (三男 透三三)

〓十一月二十日までのご寄付を掲
載いたしました。(年齢は満年齢)

記事訂正とおわび

十月号および十一月号の記
事中、誤りがありました。
深くおわびし、次のとおり
訂正します。

■十月号「うぶ声」の記事中
〔出生児の欄〕
吉田裕一郎 ↓ 吉田祐一郎

正 誤 表

下記の記事中、写真に誤りがありました。

深くおわびし、次のとおり訂正します。



団体の部の決勝戦

第十九回義弘公奉賛剣道大会は十一月二十三日、加治木中学校体

義弘公奉賛剣道大会

百二十四チームが技を競う

育館で行われ、県内各地から参加した百二十四チームが日ごろ鍛えた技を競いました。

結果は次のとおりです。

- ◎小学校の部 ▽優勝：福平剣道スポーツ少年団 A ▽二位：正剣館
- ▽三位：福山剣道スポーツ少年団 A、寺山剣道スポーツ少年団
- ◎中学校の部 ▽優勝：菱刈中 A ▽二位：城南剣道スポーツ少年団
- ▽三位：加治木中 A、和田中 A
- ◎高校の部 ▽優勝：鹿児島実業 B ▽二位：鹿児島実業 A ▽三位：加治木高校 A、加治木工業 A
- ◎一般の部 ▽優勝：鹿児島西警察署 ▽二位：和田剣道 ▽三位：桔梗会、鹿児島刑務署

“でこんかつぎ”など26種目

西元地区大運動会

十二回目を迎えた西元地区大運動会が、秋晴れの十一月二日毛上公民館広場で行われ、子供からお年寄りまで地区民総出で二十六種目に挑戦しました。運動会には、鹿児島市などからも地区出身者が帰郷。さおの両端に五本づつの大根をつるし、五十肩をリレーする“でこんかつぎ”では、バランスをとるのが難



腰がふらつく？

しく、腰や足元がふらつく姿に、大きな声援が沸いていました。